

科目番号	54003	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年	1
科目名	公衆衛生看護活動論 (Practical Public Health Nursing)					1	配当セメスター 前期
担当者	○大越扶貴 他1名		区分	必修	単位	1	管時数 15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連	
【概要】 ライフステージによらず地域で生活する個人・家族・集団・地域などの様々な対象者へ公衆衛生看護過程を展開するための基礎的理論を学ぶ。						○	1.多様な課題に対応する高度な実践力
【目標】 ・理論やモデルを用いて個人や家族のアセスメントができる ・健康相談の目的・特徴について説明できる ・家庭訪問の目的・特徴について説明できる ・家庭訪問に必要な技術について説明できる ・グループ支援について説明できる							2.地域住民の自立を養う統合的支援能力
							3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
							4.政策や保健事業を開発する能力
							5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力
							6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
第1回	個人・家族のアセスメント①						大越 他1名
第2回	個人・家族のアセスメント② 家族システム理論 事例を用いジェノグラム、エコマップを作成し、アセスメントを行う						
第3回	個人・家族への支援技術①（健康相談） 事例を用い個別健康相談のプロセスについて検討・考察する						
第4回	個人・家族への支援技術②（家庭訪問 i 初回訪問） 母子事例を用い家庭訪問のプロセスについて検討・考察する						
第5回	個人・家族への支援技術③（家庭訪問 ii 継続訪問） 家族支援、多職種との連携、他事業へのつなぎ						
第6回	個人・家族への支援技術④（母子ハイリスク事例への介入）						
第7回	グループ活動・地域組織活動の支援① グループの定義、セルフヘルプグループの機能、成長段階、地域組織活動						
第8回	グループ活動・地域組織活動の支援② グループ・地域組織活動を支援する保健師の活動						
事前・事後学習	事前学習：テキストの各回の該当箇所を読んでから講義にのぞむこと。 事後学習：配布資料およびテキストを復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。						
評価の方法	授業課題40%、発表内容30%、グループ討議等の参加度30%を基準とし総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。						
参考図書・資料等	◎標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動論 第5版 医学書院 2024						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						